

インマヌエル中目黒キリスト教会
2009年5月31日
聖日礼拝

五旬節を迎えて

「聖霊の就任式」

使徒の働き 2章1-4節

14-21節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 2章 1節- 4節
及び 14節-21節

- 1 五旬節の日になって、
みなが一つ所に集まっていた。
- 2 すると突然、天から、
激しい風が吹いてくるような
響きが起こり、
彼らのいた家全体に響き渡った。
- 3 また、
炎のような分かれた舌が現われて
ひとりひとりの上にとどまった。

4 すると、みなが聖霊に満たされ、
御霊が話させてくださるとおりに、
他国のことばで話しました。

14 そこで、

ペテロは十一人とともに立って、
声を張り上げ、

人々にはっきりとこう言った。

「ユダヤの人々、

ならびにエルサレムに住む
すべての人々。

あなたがたに知って

いただきたいことがあります。

どうか、

私のことばに耳を貸してください。

15 今は朝の九時ですから、
あなたがたの思っているように
この人たちは酔っているのでは
ありません。

16 これは、
預言者ヨエルによって
語られた事です。

17 『神は言われる。

終わりの日に、

わたしの霊をすべての人に注ぐ。

すると、

あなたがたの息子や娘は預言し、

青年は幻を見、老人は夢を見る。

18 その日、わたしのしもべにも、

はしためにも、

わたしの霊を注ぐ。

すると、彼らは預言する。

19 また、わたしは、
上は天に不思議なわざを示し、
下は地にしるしを示す。
それは、
血と火と立ち上る煙である。

20 主の大いなる輝かしい日が
来る前に、
太陽はやみとなり、
月は血に変わる。

21 しかし、
主の名を呼ぶ者は、みな救われる』

説教

五旬節を迎えて

「聖霊の就任式」

使徒の働き 2章 1節 — 4節

及び 14節—21節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。」

(使徒**2:4**)

1. 五旬節の日が「満ちて」

- 「五旬節」：
過越祭から**50**日目、
大麦の収穫を祝う祭り
- 「日が満ちて」：
旧約の予言、
主イエスの約束の条件が満ちた
- 「みなが一つ所に集まって」：
祈りにおける一致
(マタイ**18:19**)

2. 「風のような音」

- ・ 突然の轟き
- ・ 活かす御霊の象徴である「風」
(エゼキエル37:9,14)

3. 「分かれた舌のような炎」

- 一つの火が分かれて個々人に
- きよめる火
(マタイ**3:11**、使徒**15:8-9**)

4. 「他国のことば」

- 「舌」 (グロッタ) :
 ロゴス (理性) の発現
- 「他国のことば」 :
 母国語以外の言葉で
 理性的な説教
- 「御霊が話させてくださる
 とおりに」 :
 聖霊の主導権

最後に自問しよう：

私達は聖霊に対して

- ・ 協力的**or**非協力的？
- ・ 従順**or**反抗的？
- ・ 敏感**or**無関心？